

平成29年11月30日

役員会議事録

目的：前回役員会で承認された部活動TA視察、及び、総文祭（予選）視察を11月20日、23日にそれぞれ行った。視察の内容について報告する。

審議事項：

- ・部活動TA視察
- ・総文祭（予選）視察

部活動TA視察：

11月20日、科学研究部物理班（科研物理班）の部活動、及び、卒業生によるTA（正式名称『外部指導員』）指導の様子について、本会役員による視察を行った。

まず部活動の現状について報告する。本校科研物理班は多くの実績を持つ研究系の部である。当日は研究活動、及び、総文祭予選へ向けての発表資料作りが行われていた。研究活動は、部員たちが幾つかの研究班に分かれ、それぞれ異なる研究テーマ（LED、航空、超伝導、天体、ダイラータンシー等）を研究するというスタイルで行われていた。但し、部活動は顧問が会議等で忙殺されていた為、TAが一人で部員に研究指導を行っていた。

次にTA業務の現状について報告する。TAは元々部卒業生であり、卒業後、数年に渡りボランティアでの部活指導を行っていた。この活動にSSH予算がつき現在のTAという制度が誕生した。また、TAの雇用は、顧問と卒業生の間で直接行われており、公募という形をとっていない為、TAの存在を知らない卒業生も多く、TAのいない部も多い。現在、科研物理班TAの給与はSSH予算を利用しており、もしもSSH指定が外れた場合、この制度がどのような形で維持されていくかは不明ということであった。

視察の結果、TAの雇用方法、及び、予算について、現状を把握することができた。TAは部に大きく貢献し、在校生と卒業生の発展、及び、交流という意味で本会の趣旨にそぐう制度であることがわかった。このTAの制度をより良い形で維持、発展していく為に部活動・研究活動支援事業等の具体的な内容について詰めていく予定である。

総文祭（予選）視察：

11月23日、本校で開催された全国高等学校総合文化祭（総文祭）の東京都予選（大会と略す）の様子について、本会役員による視察を行った。

大会は、会場はサイエンススクエア、発表の形式はポスター、サイエンススクエアにあるパーテーションを利用し、物理、化学、生物、地学に分かれて24組（物理5組、化学6組、生物7

組、地学6組^{注1)}、15校が参加し、開催されていた。首都大学東京を中心とする各分野の大学教員による審査が行われ、大会終了後、視聴覚室にて各賞^{注2)}の授与が行われた。大会は、研究の内容はもちろん、ポスターのレイアウト、及び、プレゼン能力による集客、楽しさ、理解度を聴衆に与えることができるかがポイントであった。また、通常の口頭発表と異なり、聴衆と対面しての発表となる為、多くの質問に効率よく対応できる必要もあった。その意味でポスター発表は発表能力の総合力が求められていた。

視察の結果、会場の容量、在学生を含む高校生のポスター発表のレベル、プログラムや要旨集等の仕組みについて、現状を把握することができた。研究会は、自らの研究について見直す機会となるだけでなく、発表スキルの上昇にも役立ち、更に、他の研究を知る絶好の機会であることがわかった。この視察結果を踏まえ、2月に実施を提案中の本会主催の研究会の具体的な内容について詰めていく予定である。

注1：余談であるが本校は大会唯一、全分野で発表を行っていた。

注2：本校は、物理において優秀賞、生物において審査員特別賞を受賞するなど、目立った実績を残していた。